



Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society



JP-MIRAI 現場アカデミー報告会

～海外スタディーツアー～

第2回: インドネシア 2023年11月26日～12月3日

一般社団法人JP-MIRAI

参加メンバー



Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society



ILOジャカルタ事務所にて
2023年12月1日

氏名(敬称略)	所属先
秋山 映美	株式会社クレアン
嘉野内 雅文	らしくみ株式会社
木村 文幸	アデコ株式会社
関口 秀樹	チェングロウス
中島 吉浩	チェングロウス
島巻 弘充	GMT協同組合

氏名(敬称略)	所属先
渡辺 夏美	トヨタ自動車株式会社
北沢 智子	キャムテック社
長内 雄図	キャムテック社
高田 智也	キャムテック社
穴戸 健一	JP-MIRAI理事
陳 ドウ	JP-MIRAI事務局

スケジュール



Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society

日付	時間	旅程内容	宿泊地
11月26日(日)	11:45-17:50	羽田 ⇒ ジャカルタ(ガルーダ航空) /バスにて市内ホテルへ移動	ジャカルタ
11月27日(月)	9:00-10:00	在インドネシア日本大使館	ジャカルタ
	11:00-12:30	移民労働者保護庁BP2MI /ジャカルタ→カラワン	
	14:45-16:30	インドネシア研修生実業家協会(IKAPEKSI) /カラワン→ジャカルタ	
11月28日(火)	9:00-15:30	日本インドネシア人材フォーラム(インドネシア労働省/JICA共催)	ジャカルタ
	16:00-17:30	インドネシア送出し機関協会(AP2LN)との対話	
	19:00-	懇親会(夕食)	
11月29日(水)	9:00-10:00	労働省(KAMNAKER)職業訓練総局 /ジャカルタ→ブカシ	バンドン
	11:45-13:30	ブカシ国立職業訓練センター(BBPVP)	
		アイム・ジャパン(送出し機関) /ブカシ→スバン	
	15:00-16:30	浜連教育センター(送出し機関) /スバン→バンドン	
11月30日(木)	8:30-10:00	バンドン国立職業訓練センター(BBPVP)	ジャカルタ
	11:00-12:30	スنداガイヤ(送出し機関)	
	14:00-15:30	タンジュンサリ農業高校 /スメダン→ジャカルタ	
12月1日(金)	10:00-11:00	国際労働機関(ILO)	ジャカルタ
	11:45-12:45	JETRO(日本人会代表)	
	14:00-15:30	JICA事務所+西田専門家意見交換(任意参加)	
	18:00-	反省会(夕食)	
12月2日(土)		出発まで自由行動	機内泊
	23:35-8:50 ⁺¹	ジャカルタ ⇒ 羽田(ガルーダ航空)	

「日本インドネシア人材フォーラム2023」報告



Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society

11月28日(火)9:00-15:45 (現地時間)、インドネシア労働省・JICAの共催にて、インドネシアから日本への技能労働者(技能実習/特定技能)の質の向上と裾野拡大に向けた「インドネシア・日本人材フォーラム2023」を初開催。

日本から9つの省庁・政府機関と17の民間機関、インドネシア側から12の省庁・政府機関と38の民間機関、国際機関からILO、**総勢約230名が参加**。ニメディアでは40近い記事が掲載され、日系メディア(日経、NHK等)も取材。

■金杉憲治・在日日本国大使ご挨拶:技能実習、特定技能制度におけるインドネシアの人数が近年急速に増加しており、**今後、ベトナムを抜いて、最も送出国が多い国となる可能性**があること、また、両国間の人的交流は、相互理解や学び合いにつながり、今後20年、30年の二国間関係の屋台骨を支える人材育成という意味でも重要。

■イダ労働大臣ご挨拶:日本はインドネシアにとって関心の高い就労先であり、**今後5年間で10万人の労働者を日本に派遣**し、インドネシアの若年層の雇用機会拡大と日本の人材不足に貢献していくこと。両国政府が協力し、労働者の安全・安心を高め、質の高い事業としたい



「日本インドネシア人材フォーラム2023」報告



Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society

■**セッション1「基調講演」**:アンワール労働次官から、「インドネシアでは毎年350万人の新たな労働人口が生まれており、受入国側の需要を見極め、研修訓練の提供、インフラの整備、訓練センターのネットワークを強化していく必要がある」、また、出入国在留管理庁福原部長からは、直近の技能実習制度改革の議論等についての説明後、近年インドネシアから送出国が急激に増えており今後の推移に注目している」との発言があった。

■**セッション2「インドネシアの産業振興に向けた人材育成」**:労働省、農業省、JICAから人材育成に向けた取り組みを紹介し、人材育成に向けた技能実習、特定技能を通じた日尼の技能人材交流の重要性を確認し、官民の関係機関による連携の強化、日本からの帰国人材がインドネシアの産業振興に貢献する仕組みの構築、日本語教育強化の必要性を確認。

■**セッション3「権利と保護～安心・安全に日本で働くリクルート・マッチング～」**:労働省、BPJS労働、移民労働者保護庁(BP2MI)、国際労働機関(ILO)より、リクルートプロセスにおける権利保護や社会保障制度に係る発表があり、両国の政府が社会保障制度等、労働者の権利保護のための体制の整備に取り組んでいることを歓迎するとともに、適正な手続きに則った送出国、受入の推進のため官民様々なステークホルダーが情報を共有し、意見交換を進める重要性を確認。



アンワール労働次官



出入国在留管理庁福原部長

「日本インドネシア人材フォーラム2023」報告



Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society

■分科会(建設、観光(宿泊)、自動車整備、介護)

- **建設:**安全安心な環境で日本の建設・建築・設備の高い技術を学ぶことができる一方、派遣する技術者の経験、条件、待遇等について双方で十分に確認すると共に、帰国人材のモニタリングを行っていくことも重要性を確認した。
- **観光(宿泊):**日本側から旅館で働く魅力や宿泊業で求められるマルチタスクについて共有をし、インドネシア側からは日本語教育の強化、特定技能試験の回数増加等、より受けやすい試験への改善や長期のインターンシップの受け入れ等の要望があり、情報交換を継続することが重要であることが確認された。
- **自動車整備:**尼側は修理に重きがあり日本側は点検整備に重点があるという相違があり留意が必要であることが報告され、尼側は高等教育課程の実習や技能において必要とされる人物像を育成できるようにカリキュラムを検討している旨が共有された。
- **介護:**日本側から介護の受け入れ制度、現状や支援の取組について説明、その後インドネシア側から、今後インドネシアでも高齢社会対策を進めていく必要性が述べられ、日本の経験を学ぶことへの期待が述べられるとともに、資格の相互認証の可能性について質問があり、介護・看護の今後の受け入れ枠拡大の可能性について議論し、引き続き連携を強化していくことを確認した。



観光分科会:日尼の関係省庁、業界関係者、教育機関の方など約40名が参加した

■**Closing Session:** インドネシア政府が掲げる「今後5年間で10万人の労働者を日本に派遣する」目標への貢献を通じた両国の発展に資する産業人材の育成に向けて、尼労働省とJICAの間で①日本の就労情報の発信、②日尼官民関係者の意見交換プラットフォームの設置、③日本語教育の拡充、④技能訓練の強化などの課題に対し、協力して取り組むためのMOC(協力覚書)が締結された。また、閉会に際し、本フォーラムのまとめとして両機関議長サマリーを発表。本フォーラム継続への尼側の期待は高く、労働省から次回日本での開催を希望する発言があった。



**Japan Platform for Migrant Workers
towards Responsible and Inclusive Society**